

ふくおか

第303回郡市会長会を開催しました

平成31年2月27日（水）、福岡県教育センター第11研修室にて、本年度第2回郡市会長研修会を開催しました。県会長挨拶に続き、福岡県教育センター教育経営部 部長 金子尚文 氏のご講話を、「これからの学校教育に期待すること」題して拝聴しました。その後、事務局や3部会の会務報告、平成30年度の活動の反省、九小協及び全連小理事会報告後、次の議案が審議され、承認されました。

今回の時報では、その研修内容と協議結果をダイジェストでお知らせいたします。

これからの学校教育に期待すること

講師 福岡県教育センター教育経営部 部長 金子尚文 氏

1. 日本が直面している状況

生産労働力人口が減少する。少子化の原因として、経済的な問題が大きな要因としてあり、県の就学援助率も高くなってきている。その中で教育においては「一人一人の生産性」を高めるため、それぞれが持つ能力を最大限発揮することが求められる。

2. 教育の動向と本県の現状

- 「よりよい学校教育を通して、よりよい社会を創る」～消滅可能性があるといわれる市町村がある中で、学校が最後の「砦」となる。
- 学力向上→特に質問項目「課題に向けて、自分で考え、自分から取り組む」について県の目標値を達成すること。そのためにも、小中9年間で育てる学力向上プランを作成し、検証改善ロードマップを共有して取り組むこと。
- 体力向上→質問項目「運動やスポーツが好き」「1週間の総運動時間」の割合を増やす実践を行い、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践する児童の育成をめざすこと。
- カリキュラム・マネジメントが鍵である。カリキュラムとは、目的や目標の実現のため、実施しながら改善を図っていくものである。PDCA サイクルを重視すること。

3. 今学校に求められること

- 若年層の増加には、管理職のリーダーシップとマネジメント力、教師力の向上、学校のチーム化を柱に「学校力」を高めることが必要。特にミドルリーダーの育成が急務である。基本研（経年研修）も変わり、校内のOJTとしての研修、市町村教委の研修が課題となる。
- 「働き方改革」では、「やれることをやってみる」「早く帰ることより、得られた時間をどう使うかが大切」等の意識改革が必要である。また、中期目標を踏まえ、重点目標を絞って設定し、共通理解と共通実践をめざすこと。

4. 教職員のキャリアデザイン

人生100年時代、また、公務員の定年延長も確実な今後は、豊かな人生をめざして、「現役」「定年後」の見通しを持ったキャリアデザインを若年層も含めて描かせる必要がある。校長としてプライベートを尊重しつつ、必要に応じて部下に助言をすること。

以上の内容のご講話後、私たちの実践への期待と激励を込めて、今が10年後の学校教育をつくる重要な時期であるとまとめられました。

都市会長会における協議事項と結果について

- 第1号議案 平成31年度県小学校長会会長選出について（承認）

久山町立久原小学校

☆平成31年度福岡県小学校長会会長に **重松 宏明 校長** が選出されました。

- 第2号議案 平成31年度県小学校長組織について（承認）
☆九小協大会準備委員会（九小協福岡大会の準備）の設置
- 第3号議案 平成31年度県小学校長会行事予定について（承認）
☆各部長会は年間3回開催予定（平成31年度の研修事業計画書は配布済み）
- 第4号議案 県小学校長会規約改正について（承認）
☆組織改革に関する事項，役員監事に関する事項等について改正
- 第5号議案 平成31年度会員負担金について（承認）